

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

令和5年12月20日（水） 午後3時00分から午後3時40分まで

2 場 所

上田市役所 202・203 会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	安 達 永 眞
委 員	森 田 小 百 合
委 員	木 口 博 文

○ 説 明 員

小野沢教育次長、児玉教育参事、山賀教育総務課長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、上原生涯学習・文化財課長、和根崎上田城跡整備担当政策幹、久保田人権同和教育政策幹、小須田学校保健給食課長、清水第一学校給食センター所長、星野中央公民館長、滝沢城南公民館長、佐藤上田図書館長、小林丸子地域教育事務所長、松木真田地域教育事務所長、若林武石地域教育事務所長

1 あいさつ

学校では、インフルエンザによる学級閉鎖がかなり出てしまったが、なんとか2学期終盤を迎えている。12月25日から27日にかけて、各小中学校が終業式を迎えるわけだが、小学校は、26日が多く、21校が終業式である。中学校は1日遅くて27日が多く、10校終業式が行われる。

間もなく終業式を迎えるわけだが、2学期、よいまとめが出来ればよいなと思っている。

委員の皆様にご覧いただいた第二学校給食センターであるが、新年1月10日から給食の供給を開始する。大変楽しみである。

この頃、急に寒くなってきて、クリスマス寒波が来るというような話も聞く。皆様、健康には十分ご留意いただき、よい新年を迎えていただきたいと思う。

今日、大久保委員が御欠席である。

それでは、12月の定例会、よろしく申し上げます。

12月の定例会、協議事項は今回はなく、報告事項のみである。

2 報告事項

(1) 令和5年度「生涯学習シンポジウム」実施報告について（生涯学習・文化財課）

○資料1により上原生涯学習・文化財課長説明

令和5年度「生涯学習シンポジウム」を開催したのでその実施状況について御報告する。

このシンポジウムについては、令和3年の上田自由大学創設100周年を迎えたことを契機に、社会教育運動の意義を顕彰し、市民の自発的な学習活動を現在そして未来につなげていくことをシンポジウムのテーマとし、市民が主体的に取り組むフォーラムを教育委員会が協働で共催事業として開催してきている。

今年度実施したフォーラムについては、11月26日の日曜日、上田商工会議所を会場に63名の御参加をいただいた。今回は昨年実施したシンポジウムを通じ、改めて問題提起された次世代への継承という観点から、未来をつくる若い世代の研究者をシンポジストに迎え、シンポジウム及びグループワークを通じて「学びとは何か」を考える機会としたところである。

午前の部については、20代から40代の若い世代の研究者4人によるシンポジウム、午後の部については、グループワークとして、「あなたと自由大学」をテーマに、参加者にとっての学びについて、意見交換を行ったところである。裏面を御覧いただきたい。こちらに参加者の感想・意見をアンケートから一部抜粋して掲載している。主なものとして、このフォーラムを通じて、若い世代の考え方を知ることが出来たことや異なる世代との関わり、異なる時代背景や地域の参加者との学びをテーマとした交流が有益であった。また、自由大学というキーワードによって、多くの方が学びとは何かを改めて問い直す機会となったことなど、参加者からの声をお聞きすることが出来た。

そのほか、アンケート調査を行い、その結果による年代別の集計では、今回40歳未満の若い世代の参加者が16名であった。その若い世代との交流による多世代の交流と関わりを持ったことが非常に学びの多いフォーラムとなったことで、今後の展開につなげていくステップとして意義あるフォーラム、生涯学習シンポジウムになったのではないかと捉えている。

今後、未来につなげていくために、どのように取り組んでいくのか、この自由大学の発祥の地である上田においてのあり方について、引き続き、実行委員会の皆様と共に教育委員会

としても検討してまいりたい。

峯村教育長

ただ今の内容について、御質問、御意見あればお出しいただきたい。

安達委員

今、発表にあったのだが、最初の5行目にある「市民が主体的に開催するフォーラムを行政が協働開催」という部分、この生涯学習のスタンスはとてもいいと思う。ぜひ聞きたいのは、参加者の年代。若い方がシンポジストとしているので、参加者も若い年齢層となったか聞きたい。40歳未満の方が16名と、発表があり、良かったなと思う。どちらかと言うと、こういうのは、高齢者に偏る傾向があるのでとても良かったなと思う。

上原生涯学習・文化財課長

昨年度のシンポジウムを踏まえ、若い年代層、今回、大学生というよりは、高校生に今の学校での学びという事とつなげてもらいたいと考え、上田高校をはじめ、上田染谷丘高校などの校長先生の御協力をいただき、周知をしていただいた。ただ、結果としてアンケートの集計でいくと、10代は0という寂しい状況だったが、これからもこの年齢層には働きかけていきたい。

峯村教育長

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

(2) 令和5年度青少年善行表彰及び「家庭の日」の作文の表彰について（生涯学習・文化財課）

○資料2により上原生涯学習・文化財課長説明

令和5年度青少年善行表彰及び「家庭の日」の作文の表彰について、その概要、また、表彰式の実施状況について御報告する。

去る11月25日(土)、上田創造館において、被表彰者、受賞者、そしてその家族等の関係者に御参加いただき、青少年善行表彰及び「家庭の日」の作文の表彰式を行ったところである。

青少年善行表彰については、地域で善い行いをした青少年を顕彰することにより、誇りと自信を高め、より良い市民としての豊かな心と、実践力の育成・昂揚を図る目的で行っている。今年度は推薦いただいた、裏面の2団体を表彰したところである。表彰式では、スクリーンで活動の様子を紹介しながら、また、本人の感想を述べる場面では、今後の取組の感想や決意などをお聞きし、大きな期待と共に、頼もしさ、心強さを感じたところである。善行の内容については、2ページを御参照いただきたい。

次に、「家庭の日」の作文については、家庭づくりの大切さについて広く理解を得るための取組の一環として、日頃の家庭への感謝や家族への想いを内容としたテーマとした「家庭の日」の作文を市内小中学生から募集し、優秀作品を表彰するものである。

今年度は557件の応募をいただき、その中から優秀作品として、優秀作品6点、優良作品

11点、計17点、小学生7名、中学生10名の方が、受賞した。受賞者及び作品については、資料の3ページに一覧があるので御参照いただきたい。また、当日は、優秀作品の中から代表して、小学生おひとりの方に朗読をいただいた。いずれの作品においても、家族と一緒に過ごす日常や家族のつながりの大切さ、家族への感謝の気持ちがあふれる心温まる内容の作品ばかりである。優秀作品6点の作文を掲載した作文作品集を別冊でお配りしているので、後ほど御覧いただければと思う。

この優秀作品6点の作文については、市、ホームページに掲載し、市民の皆様に御覧いただくほか、当日、会場で朗読していただいた作品は、子ども情報誌、yahooに掲載し、小中学生の児童生徒の皆さんに読んでいただく予定。

峯村教育長

御意見、御質問あればお出しいただきたい。

木口委員

お聞きしたいが、善行表彰は、自治会の育成会や育成推進委員などに推薦の依頼も行っていると思うが、その推薦は育成会の関係以外に依頼しているところはあるのか。

上原生涯学習・文化財課長

自治会や住民組織などに表彰推薦をお願いしている。

今手元に資料がなく詳細は御説明できないが、幅広くお願いをしているところである。

木口委員

今回、千曲高校があるが、学校などにも推薦の依頼をされているのか。

上原生涯学習・文化財課長

今、正確な情報ないので確認をさせていただきたい。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

木口委員

家庭の日の作文について説明していただいたが、市のホームページには既に掲載されているのか。

上原生涯学習・文化財課長

本日の教育委員会の報告を経てホームページへはアップする。yahooについては、これから発行するものになるので、少し時間を要する。

峯村教育長

ほかにはよろしいか。

当日、代表で発表してくれたのは「わが家流元気の出し方」北小学校三年の鈴木聡一郎君は、当日も家で円陣を組んで元気をだしてから来てくれたと聞いている。

それではよろしいか。

○全員了承

(3) 令和5年度「文化財 de 文化祭」の実施報告について（生涯学習・文化財課）

○資料3により上原生涯学習・文化財課長説明

令和5年度の「文化財 de 文化祭」の事業について、今年度計画した2回の事業が終了し、その御報告となる。この「文化財 de 文化祭」については、市内に数多くある文化財、この貴重な宝を市、内外の方に知っていただき、後世に継承していくため、文化財の活用モデルとして提案していくことを目的に、音楽やパフォーマンス等のイベントを行ってきている。

今年度は、子どもを中心に親子で御参加いただける事業を計画し、子ども会育成連絡協議会と連携する中で2回実施した。第1回目の真田氏本城の会場の開催では、先の6月定例会で御説明したので今回は省略する。

今回実施した、第2回文化財 de 文化祭を市、指定文化財である旧宣教師館で実施した内容について御報告する。開催日時は、12月9日(土)、「旧宣教師館」という洋館の建物で行った。クリスマスシーズンに向かうこの季節ならではの雰囲気や家族で楽しみながら、文化財に触れる機会として企画をした。

内容として、クリスマスリース作りとミニコンサートを中心として、文化財の紹介では、建物内を探検するクイズ形式の紹介を取り入れたり、コンサートでは、作ったクリスマスリースを壁に飾り、会場を華やかな雰囲気や盛り上げたり、オーボエ、琴のコンサートを行ったが、楽器紹介や体験会を取り入れるなど、多文化を広く体験いただいたところである。裏面に参加したお子さん、保護者の方の感想、気づきなどをアンケートから抜粋している。こちらのアンケートの感想から、この体験を通じて、旧宣教師館という文化財に触れて、興味を持っていただくこと、子ども以上に保護者の皆様が文化財に魅力を感じていただけたことが、成果として良かったのではないかと振り返っているところである。今後も、このような機会を通じて、他の文化財への関心に繋がっていくことを期待したいところである。また、今回演奏していただいた出演者の皆様もこのような場での演奏に感激されており、大変興味を持たれていた。市が主催するだけでなく、このような皆様と連携した文化財の活用についても研究してまいりたい。

峯村教育長

ただ今の内容について、御質問、御意見があればお出しいただきたい。

森田委員

旧宣教師館は素晴らしい文化財で、今お話があったが、上田市の主催以外のところで、この

場所を使って企画をしたいとか、そういう依頼はあるのか。

上原生涯学習・文化財課長

コンサートではないが、今年、上田市フィルムコミッション通じたイベントとして、イタリア協会の記念コンサートを旧宣教師館でやった経過がある。今後、希望があった時、どのような使い方ができるのか研究課題となっている。

森田委員

いろいろ管理面とか、認可の仕方等、難しいところもあると思うが、やはり、建物が活かされてこそ文化財が甦ってくるということがあるので、前向きに、もしそういう話があれば、検討いただくのがよいのかなと思っている。

峯村教育長

この旧宣教師館でイベントをしたのはこれで2回目である。前回の、クリスマスリース作り。梅花幼稚園の隣にあったものを移築したのだが、元は病院であった。とても良い建物で、これは残していくのが大事だなと把握している。

ほかにはよろしいか。

○全員了承

(4) 丸子文化会館主催事業及び主催名義について（丸子地域教育事務所）

○資料4により小林丸子地域教育事務所長説明

丸子文化会館主催事業及び主催名義について、事業名は「東儀秀樹&ピアノ五重奏コンサート」である。

主催を上田市・上田市教育委員会にお願いしたいというものであるが、共催については、信濃毎日新聞社、週刊上田新聞社となっている。

丸子文化会館は、今年の1月15日に開館30周年を迎えた。雅楽師、東儀秀樹さんとN響団友オーケストラのコラボレーションによる素晴らしい演奏を皆様に楽しんでもらいたい。幅広い年齢層の方に受け入れられる方ということで東儀秀樹さんを選んだ。

また、このコラボレーション、和楽器(笙)と西洋楽器の融合をぜひともこのセレスホールの音響で生演奏を楽しんでもらいたいというものである。

コンサートの開催については、来年の2月18日(日)である。開演は午後2時。入場料は、前売り3,500円、高校生以下2,000円。発売日は、今週末の23日(土)を予定している。

峯村教育長

ただ今の内容について御質問、御意見があればお出しいただきたい。

安達委員

この表題の意味がわからないのだが、後ろの「主催名義について」というのはどういう意味

か。

小林丸子地域教育事務所長

丸子文化会館は、過去において教育委員会組織にあったが、現在は市長部局であることから、本来、主催は上田市だけとなるが、過去の経緯を踏まえ、教育委員会も主催者としてお願いしたいという事である。

峯村教育長

よろしいか。

安達委員

了承。

峯村教育長

これは表題が分かりにくいですね。

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

(5) 登録有形文化財の登録(見込み)について(生涯学習・文化財課)

○資料5により上原生涯学習・文化財課長説明

この度、文化庁に登録申請していた文化財2点について、文化審議会の審議・議決を経て、今後、有形文化財として、登録される見込みとなったことから、その概要について御報告する。

まず、塩田地区前山にある、前山寺である。今回、前山寺の本堂、庫裏、玄関、山門と、建造物と丸子地区の御嶽堂にある「りんどう橋」である。この2件の建造物の特徴等については、裏面に解説をさせていただいているので、また御覧いただきたい。

今回、この有形文化財登録には、基準があり、その内容を、3の「その他」に記載している。まず、建築物、土木構造物及びその他の工作物が対象となり、原則として、建設後50年を経過していること、なおかつ、次の各号のひとつに該当するものと規定されている。

前山寺については、記載の各号として、(1)(2)の基準に該当し、りんどう橋については、(3)の基準に該当するとして、建造物の構造及び形式であることとして登録されたものである。

この機会に登録有形文化財、登録制度について、簡単に御説明したい。

この登録有形文化財、登録制度については、地域に親しまれている建物や時代の特色をよく表したものの、再び造ることが出来ないものを貴重な文化財であるとし、文化財建造物を資産として活かすための制度として、平成8年に誕生している。届出制というゆるやかな規制を通じて、文化財の保存が図られ、活用が促されているところである。登録されることのメリット、優遇措置としては、該当物件にかかる相続税の一部控除や家屋の固定資産税が一部控除されること、また、建造物の保存修理に係る設計管理費に対して、国からの費用、1/2が補助されることである。ただし、建造物の修理等にかかる工賃費に対する補助がないことが現状である。

今後、りんどう橋については、上田市が所有する建造物であるので、登録を機に橋を管理する都市建設部と教育委員会、そして丸子地域のまちづくり組織が連携し、記念講演会や展覧会などを企画をしているところである。このような事業を通じ、市民の皆様に周知するとともに、文化財の魅力を感じていただけるような機会としたいと考えている。

峯村教育長

ただ今の内容について、御質問、御意見があればお出しいただきたい。

安達委員

登録されるメリットの話があったが、前山寺がこの有形文化財に指定されるということで、先ほど話のあった、文化財 de 文化祭のようなこともここを会場に開かれると考えて良いか。

上原生涯学習・文化財課長

昨年度、安楽寺の本堂で開催させていただいたこともあり、前山寺の御協力をいただけるようであれば、そのような企画も可能かと思う。

安達委員

期待しております。

峯村教育長

ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは、説明は(6)から(11)までないが、御質問、御意見があればお出しいただきたい。よろしいか。

○全員了承

峯村教育長

それでは以上をもって、12月の定例会を閉じる。
ありがとうございました。

○全員了承

閉 会